

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ルート	公表日				
		令和8年 3月 13日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用人数に応じて活動スペースを調整し、子ども達が安全に過ごせる環境作りを行っています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に応じて職員を配置を行い、子ども一人一人に目が行き届く支援体制を整えています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		構造上の広さやトイレの段差など、車椅子での利用ができない状態です。生活空間は視覚的な情報を積極的に活用しており、個々の特性に配慮した環境整備を行っています	日常点検を定期的に行う事や転倒やケガの防止に努めています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除や整理整頓は支援前後毎日行っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		職員事務所を除き、全室自由に出入りできます。必要に応じてのパーテーションを設置して個室を作るなど、その時の状況や場面にに応じて臨機応変に対応しています	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員全員で支援目標に沿って振り返りや日々の目標設定を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの自己評価表や送迎時に頂いたご意見を参考に、業務改善に取り組んでいます	保護者様からの意見や要望をより幅広く把握できるように、アンケートなどの機会を活用し、今後も継続して業務改善につなげていきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングや個別面談を通じて意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は行っていません	今後は、必要に応じて情報収集を行い、より質の高い支援に繋がる体制作りを検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		積極的に様々な研修に参加しており、自己研鑽に努めています。質の向上ができるように今後も頑張っていきたいと思えます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはホームページに掲載させていただいています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントに基づき、個別支援計画を作成しています	今後も丁寧なアセスメントを行い、子どもや保護者のニーズを把握しながら支援計画の内容の充実を図っていきます
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こども一人一人の合わせた自立や社会参加の形をチームで検討し、放課後等デイサービス計画に反映させるように努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有し、支援を行っています。	支援計画の内容について職員間で共有を徹底し、計画に基づいた支援が継続して実施できるように取り組んでいきます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所同時のアセスメントツールを活用しています。	アセスメントツールは日々の観察記録を活用しながら、子どもの状況把握をより丁寧に行い、支援に活かしていきます
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域の支援内容に盛り込んで計画を作成しています。	ガイドラインを踏まえながら、子どもの特性や状況に応じた支援内容の充実を図り、より適切な支援計画の作成に努めていきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングにて職員全員で話し合い、決定、実行しています。	活動プログラムは、子どもが楽しみながら参加できる活動内容の充実を図っていきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節節しや課題は適宜レベル変更を行い、児童に取り組んでもらうようにしています。	活動内容が固定化しないように、季節の行事や子ども達の興味関心を取り入れながら、多様な活動プログラムの実施に努めていきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団を適宜組み合わせるようになっていきます。集団活動が苦手な子どもには個別で提供を行うなど工夫をしています。	子ども達の状況や課題に応じて個別及び集団を組み合わせる計画を作成し、支援していきます

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングを開催して情報共有や支援内容を話し合い、決定、実行しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了時に振り返りや気付いたことを記録に残し、翌日には記録の振り返りをしています。	支援終了後の振り返りや記録を活用しながら、職員間での情報共有をさらに充実させ、支援の質の向上に繋がっていきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援は施設運営システムHUGにて記録を残し、支援の検証・改善に向けて支援を提供しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会には児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携できる体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		児童発達支援事業所や障がい児相談事務所に繋がっている利用者様については、就学時に情報共有をさせて頂いています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流は設けていません	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳での記載や送迎時にお伝えするようにしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		個別での対応はさせて頂いておりますが、研修会としては行っていません。	集団でのペアレントトレーニングは未実施ですが、個別面談や保護者ニーズを今後お聞きしていきたいと思っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時や契約時に説明させて頂いております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用者様と保護者様から聞き取りを行い、実行可能性などを考慮しながら、最善の利益の追求に努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を確認のうえ、同意をいただくようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		公式LINEや電話など、保護者様からの相談があった際には、できる限り適切な助言ができるように努めています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		各家庭の事情を配慮して保護者会の活動は行っていません。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情に関して意見をいただいた場合は、適切に対応し、職員全体で周知徹底しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		長期休暇等では行事のお知らせをさせて頂いています。また活動記録ではHUGで全体的なもの、個人的にお伝えするようにしています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報には細心の注意を払うようにしています。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳への記載や分かりやすい説明を心がけて情報伝達しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	外部との交流は設けていません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは職員間で必ず目を通すようにしています。	家族への周知までには至っていないため、今後分かりやすくお伝えできるように努めていきたいと思います。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、災害を想定した避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に処方箋やてんかん発作の状態について確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現在は必要とする子はいません。	必要となった際にはすぐに対応できるよう体制を整えていきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画をいつでも確認できる場所に掲示しています。	ホームページや広報誌等へ掲示するとともに、保護者様に見ていただける機会をつくるように努めていきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事例検討会を開催し、職員全員で確認しています。	日々安全で過ごせるように、ヒヤリハット記載をし、事例検討会を行い、職員間での情報共有に努めていきたいと思います
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		県主催の虐待防止・権利擁護研修の参加や社内でも定期的に開催しています。	今後も日々のミーティングも含め、注意喚起を実施して意識向上に努めていきます
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行うかについて組織的に決定し、利用者様や保護者様に事前に十分に説明し、了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しています。	今後も身体拘束がないよう、支援の質の向上に努めていきます。